

図書だより

図書新着ごあんない

- *カフェーの帰り道
- *叫び
- *七ツ下がりの方たち
- *私的応答
- *おまあ推理帖

- 嶋津輝／著
- 島山丑雄／著
- 志川節子／著
- 井戸川射子／著
- 諸田玲子／著

『ことばが きみの はねになる』

2026年 こども読書週間
4 / 23 ~ 5 / 12

町内小中学校で卒業式 新たな一歩へ

3月13日(金)に上ノ国中学校、19日(木)に上ノ国小学校および河北小学校において、卒業式が挙行されました。

式では、在校生や保護者が見守る中、卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

式辞では、校長からこれまで仲間たちと努力を重ねてきた日々を称える言葉が述べられ、在校生からは先輩たちへの感謝の気持ちや伝えられるなど、会場は卒業生を送り出す温かな雰囲気になりました。

卒業生の退場の際は、晴れやかな表情の一方で涙を浮かべる姿も見られ、別れと旅立ちの思いが伝わる印象的な式となりました。



河北小学校
【6年間の思い出とともに
語られる感謝の言葉】



上ノ国中学校
【涙が溢れる中
全員で歌い上げた式歌】



上ノ国小学校
【晴れ姿で授かる卒業証書】

上ノ国高校

北海道地学協働アワード2025 「北海道教育大学賞」受賞!

道内高校の優れた地学協働活動を表彰する、北海道教育委員会主催の『北海道地学協働アワード2025』において、上ノ国高校が『生徒の声』部門で『北海道教育大学賞』を受賞しました。

北海道地学協働アワードは、メディアプラットフォーム「note」を活用し情報発信された、特色ある取組の中から受賞校が選ばれ、同校は昨年の学校祭で花火大会を開催するにあたり、生徒が主体的に行った募金活動に関する取組内容や、その思いを振り返った記事が評価されました。

2月17日(火)には、札幌市で表彰式が行われ、生徒会(当時)として奮闘した鈴木翔さん、山本紅さん、菊池唯良さんが出席し、表彰状が授与されました。

また、北海道教育大学から副賞として、同大学の講義に上ノ国高校生が登壇し、募金活動等の取組について発表を行う機会をいただきました。

同校が進める地域とつながる取組が、後輩たちに着実に引き継がれ、上ノ国高校生だけでなく、地域全体にとっても貴重な財産となり、更なる活力をもたらすことが期待されます。

このたびの受賞、誠にありがとうございます。



上ノ国高校3年生(本年3月当時)
菊池 唯良さん(写真左)
鈴木 翔さん(同中央)
山本 紅さん(同右)



← 受賞した「note」の記事はこちらから!